

日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター内で
発生した事故に関する要請書

2017年6月6日、日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター内「燃料研究棟」において、管理区域内作業中に放射性物質が飛散し、5名の作業員が内部被ばくするという深刻な事故を招いたことは、誠に遺憾であります。

また、1999年のJCO臨界事故や2011年の福島第一原子力発電所事故の教訓が生かされておらず、安全対策と危機管理がなされていない。

今回の事故で、多くの住民が不安を感じており到底容認することはできません。

日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおいては、早急に事故原因を究明するとともに、一旦全ての業務を停止したうえで、全ての作業及び施設の総点検を実施し、原子力施設の安全を確保する責任があると考えます。

以上のことから、強く抗議するとともに、次のとおり要請します。

記

1. 早急に事故原因の究明を図り、徹底した再発防止策を講じること。
2. 大洗研究開発センターの全ての業務を停止したうえで、全ての作業及び施設の総点検を実施し、原子力施設の安全を確保すること。
3. 全ての業務において、安全対策は最優先されなければならない、あらゆる危険を想定して対応すること。
4. 当町議会に原因究明の結果並びに再発防止対策について報告すること。